



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



Semester	the second semester	Day・Period	THU 4
Class period			
Required/Elective class	elective	Number of credits	2.0
Time schedule code	20140587010501	Subject code	05870105
Subject	International Societies and Japanese Economy		
Professor in charge of putting together the course syllabus	Basu Dipak Rag		
Professor in charge of the subject	Basu Dipak Rag		
Professor(s)	Basu Dipak Rag		
Class type			
Year	1th, 2th, 3th, 4th	Class form	Lecture
Class room	RoomA-24		
Object Student	All		
E-mail address	Bose66@hotmail.com		
Laboratory			
Tel	0958206334		
Office hours	2.30 to 5.30 every friday		
Course Outline and Objectives	to help the students to analyse international economics and business policy		
Goal	to create awareness about Japan`s position in the international economy		
Method	discussions, essay writing		
Class outline/Con	Globalization and its consequences Japanese Management System and its expansions worldwide Japan`s international investments, causes and effects  Japan`s multinational companies and their expansions Strategic management policy of some of Japanese multinational companies		
Key word	Japanese multinational companies		
	Books written by Basu and Miroshnik Japanese Foreign Investment: a historical perspective, Publisher: ME Sharpe , New York, USA Japanese Multinational Companies: Management & Investment Strategies, P ublisher: Elsevier, Oxford.		

Textbook,Teaching material,and Reference book	Articles by Basu & Miroshnik in academic journals) Keiei to Keisai, Journal of Management Development. Articles published in the `Finance and Development`, a journal published by the IMF
Evaluation	Final Essay
Requirements	Knowledge of English and some Economics
Remarks(URL)	
Message for students	Knnowledge of English is required as English is the medium of instruction in these classes





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587010901	科目番号	05870109
授業科目名	●現代経済と企業活動II(地域社会と日本経済)		
編集担当教員	赤石 孝次		
授業担当教員名(科目責任者)	赤石 孝次		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	赤石 孝次		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	教育学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス	akaishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館（片淵キャンパス）6階632号		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜日12:00～13:00		
授業の概要及び位置づけ	1980年代以降、先進国経済は経済のグローバル化と資本主義経済システムの非物質主義的転回という二つの大きな構造変化にさらされてきました。経済のグローバル化はこれまで国民国家によって守られてきた地域を直接的に世界経済の変動の影響を受ける状況に追いやっていきます。また、経済システムの中で非物質 的要素が重要性を増すにつれて、社会関係資本の厚みの形成が地域の新たな発展を規定していくと考えられます。この講義では、経済のグローバル化と資本主義 経済システムの非物質主義的転回の進行の中で求められる地域発展の方向性と戦略とともに、長崎市への教訓を考えていきます。		
授業到達目標	①現代経済社会に関する幅広い知識および思考方法を身につける（基礎的知識、批判的思考、自主的探究）。 ②自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる（自己表現、コミュニケーション）。 ③日本の地域社会の発展や経済の歩みを論理的に考察できる（基礎的知識、歴史・略史を扱う、学問を尊敬する態度）。		
授業方法（学習指導法）	Questioning and Answering方式で行います。学生のみなさんに様々な方向から問いかけを行います。みなさんはそれに対して自分なりに考え、意見を述べてください。 それに対して、私や他の参加者が疑問があればその疑問を提示していき、これを繰り返していくことで知識の定着とその活用能力を高めていきます。 ま た、私と学生のみなさんがコミュニケーションできるようにMessage sheet(Minits Paper) を利用します。これは、講義中のQuestionに対するAnswerや講義中に感じた疑問、質問、意見、アイデア等を記し、講義終了後に提出してもらう もので、それに対しコメントを記して翌週に返却するものです。		
	回	内容	
	1	グローバル化とは何か？	
	2	グローバル化と公共投資中心の地域政策	

授業内容	3	グローバル化と地域格差
	4	公的投資の再構築の長野県財政構造改革(1)
	5	公的投資の再構築と長野県財政構造改革(2)
	6	EUの地域格差是正策と地域の持続可能な発展(1)
	7	EUの地域格差是正策と地域の持続可能な発展(2)
	8	EUの地域格差是正策と地域の持続的な発展(3)
	9	持続可能な発展に向けた地域戦略―ケース・スタディー―(1)
	10	持続可能な発展に向けた地域戦略―ケース・スタディー―(2)
	11	持続可能な発展に向けた地域戦略―ケース・スタディー―(3)
	12	地域発展の共通要素
	13	社会関係資本と投資戦略
	14	グローバル化時代の発展とは？
	15	長崎モデルの構築は可能か？
	16	
キーワード	経済のグローバル化、非物質主義的転向、地域格差、社会関係資本、地域政策	
教科書・教材・参考書	とくに指定しない。	
成績評価の方法・基準等	講義中のQ&Aへの参加ならびに毎回の講義で提出をお願いするMessage Sheetにより総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	特になし。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587011301	科目番号	05870113
授業科目名	●現代経済と企業活動II(企業行動と戦略)		
編集担当教員	林 徹		
授業担当教員名(科目責任者)	林 徹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	林 徹		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	thaya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー	原則として講義後の1時間。開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ	戦略の本質は、どう生きるか、である。自立。依存、共棲、乗っ取り、身売り、いろいろある。戦略と組織の観点から、トヨタ、ウォルト・ディズニー、ロック・バンド、零細企業など、種々の事例を取り上げて分析する。		
授業到達目標	戦略と組織の観点から企業行動を分析できる。		
授業方法（学習指導法）	プレゼンテーション、レポート作成、質疑応答		
授業内容	回	内容	
	1	進め方と単位認定の確認。 戦略と組織、外界適応の基礎に関する講義。	
	2	第1回の補足など。 挙母町と豊田自動織機。 事例のイラスト化による理解と、疑問点の抽出。	
	3	第2回のつづき。	
	4	フランス政府とユーロ・ディズニー。 事例のイラスト化による理解と、疑問点の抽出。	
	5	浦安町と東京ディズニー。 事例のイラスト化による理解と、疑問点の抽出。	
	6	戦略と組織の観点から3つの事例の比較検討。 受講生による身近な事例の紹介と検討。	
	7	ザ・ビートルズ結成まで。 レノンとマッカートニーを中心にしながら、 イラスト化による理解と、疑問点の抽出。	
	8	第7回のつづき。	

	9	キャロル結成まで、解散まで、解散後。 矢沢を中心にイラスト化による理解と、疑問点の抽出。
	10	受講者による他のロックバンドなどの事例の紹介と検討。
	11	K会計事務所の事例。 イラスト化による理解と、疑問点の抽出。
	12	同族企業K建設会社の事例。 イラスト化による理解と、疑問点の抽出。
	13	松風工業と京都セラミックの事例。 イラスト化による理解と、疑問点の抽出。
	14	第13回のつづき。
	15	戦略と組織の観点から、組織均衡論を再解釈する。 全体のふりかえり。
	16	レポート課題提出。
キーワード	戦略、組織、組織均衡、M&Aの本質	
教科書・教材・参考書	教科書： 林徹(2011)『協働と躍動のマネジメント』中央経済社。 林徹(2005)『組織のパワーとリズム』中央経済社。	
成績評価の方法・基準等	事例のレポートまたはイラストの作成（30％）、プレゼンテーション（30％）、質疑応答（20％）、レポート課題（20％）。	
受講要件（履修条件）	事例を読む時間（おおむね毎回1時間以内）	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	具体的な事例から出発して帰納的に考えることが経営学の基本です。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587011701	科目番号	05870117
授業科目名	●現代経済と企業活動II(社会制度と経済活動)		
編集担当教員	式見 雅代		
授業担当教員名(科目責任者)	式見 雅代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	式見 雅代		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	mshikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館 6 階630		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	講義の前後10分。その他の時間についてはメールにて予約を取ってください。		
授業の概要及び位置づけ	我々は、モノやサービスの購入などの経済活動を行うためににお金を必要とする。お金の価値が守られるための金融のしくみについて、考察する。		
授業到達目標	金融が、消費者や企業の活動に、どのような機能を果たしているかを説明できる。 銀行の機能とそれが果たされるためにどのような仕組みが設けられているかが説明できる。 利子率とは何か、利子率はどのように決まるかが説明できる。		
授業方法（学習指導法）	教科書、配布資料、DVD等を用いた講義と小さなグループでの討論が中心になります。宿題も数回あります。		
授業内容	回	内容	
	1	ガイダンス	
	2	貨幣による決済：電子マネーは貨幣？	
	3	銀行と決済制度	
	4	貨幣の供給	
	5	決済システムの安定性（1）預金の安全性が信頼できなくなるとどうなる？	
	6	決済システムの安定性（2）	
	7	貨幣の過不足と金融	
	8	資金の過不足と貯蓄・投資の関係	
	9	直接金融と間接金融	
	10	間接金融のしくみ、リスクと金融制度	
	11	親和銀行外部講師による特別講義「マネープランセミナー（豊かな社会人生活のため	

		に) 」
	12	利子率とは
	13	金利・資産価格と経済行動
	14	まとめと復習
	15	期末試験
	16	
キーワード	貨幣、中央銀行、金融システム、情報の非対称性	
教科書・教材・参考書	【教科書】 岩田規久男『テキストブック金融入門』東洋経済新報社、2008年。 【参考書】 池尾和人『現代の金融入門』新版、ちくま新書、2010年。 晝間文彦『基礎コース 金融論』第3版、2011年。	
成績評価の方法・基準等	期末試験100%とします。	
受講要件（履修条件）	授業の外に、週平均2時間以上の学習（予習、復習等）が必要になります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業の進捗状況により、シラバス内容や授業の進め方、教科書の使用範囲などを調整変更することがあります。学習方法としては、教科書をよく読むことを勧めます。新聞等で報道される金融に関するニュースに関心を持ってください。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅡ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587012101	科目番号	05870121
授業科目名	●現代経済と企業活動Ⅱ(経営情報と会計情報)		
編集担当教員	津留崎 和義		
授業担当教員名(科目責任者)	津留崎 和義		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	津留崎 和義		
科目分類	全学モジュールⅡ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	turusaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館601		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜12～13時		
授業の概要及び位置づけ	イノベーションを起こす思考の型を身につける		
授業到達目標	・自分の考えを他人に明確に伝えることができる ・チームでの議論に主体的に関与できる ・まわりの立場を理解し、それを受け入れることができる ・チームをファシリテートできる		
授業方法（学習指導法）	5人程度のチームを編成して学習を進める「協同学習」の形をとる。与えられた課題に対し、チームでディスカッションを行い、問題点・解決すべき点を明らかにした後に、これらを解決・克服するスキルやノウハウの説明、および実践から振り返りまでが、各回の主な進め方となる。		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクションーイノベーションとはー	
	2	チームビルディング(1)ーアイスブレイカー	
	3	チームビルディング(2)ーグラウンドデザインー	
	4	ファシリテーション(1)ーファシリテーターー	
	5	ファシリテーション(2)ーファシリテーショングラフィックー	
	6	アイディア発想(1)ーブレインストーミングー	
	7	アイディア発想(2)ークリエイティブファシリテーションー	
	8	アイディア編集(1)ーアイディアの展開ー	
	9	アイディア編集(2)ーアイディアの結合ー	
	10	アイディア編集(3)ーアイディアの応用ー	

	11	中間発表(1)
	12	中間発表(2)
	13	アイデア編集(4)－アイデアの精緻－
	14	アイデア表現－プロトタイピング－
	15	最終発表(1)
	16	最終発表(2)
キーワード	イノベーション、ファシリテーション	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	平素の学習態度（チームや授業への貢献度など）	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	チームでのディスカッションが理解度に直結します。活気のある議論ができるよう、主体的に臨んで下さい。	

